

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アサヒグループホールディングス株式会社（証券コード:2502）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
債券格付（期限付劣後債）	A
発行登録債予備格付	AA-
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- アサヒビールやアサヒ飲料などを傘下に抱えるアサヒグループの持株会社。近年、海外の大型 M&A によって、日本・欧州・豪州 3 極による事業体制を確立した。グループの主力であるビールは、「スーパードライ」や「Peroni Nastro Azzurro」をはじめとする有力ブランドを多数有し、プレミアム戦略を推進する。「スーパードライ」は国内市場における競争力再強化に向け、先般、発売以来初のフルリニューアルを実施した。グループの一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 競合やコロナ禍の影響などで事業環境は厳しい。ただ、成長戦略の効果で、事業基盤は着実に強化されてきている。近年、国内の酒類事業の利益水準が低下しており、その立て直しが課題だが、新商品効果などで家庭用は販売モメンタムが回復してきている。また、主力ブランドの梱入れや生産・物流体制の再編といった諸施策も実施、計画されている。飲料および食品事業の安定した収益力、海外事業の成長などを背景に、引き続き、業績は堅調に推移しよう。大型買収の影響で有利子負債は高水準となっているが、会社方針に沿って着実に削減が進むと考えられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 21/12 期は 3 期ぶりに増収増益となった。前期に続きコロナ禍が大きなマイナス要因となったが、海外におけるプレミアムビールブランドやノンアルコール飲料の販売が増加。豪州 CUB 事業（20 年 6 月買収）が通年で寄与したことなどが業績を押し上げた。22/12 期会社計画では増収、事業利益 2,400 億円（同 10.1%増）を予想する。各地域とも、主力ブランドや成長カテゴリーで販売数量の拡大を図るほか、コストマネジメントの徹底などで増益を確保する計画。原材料やユーティリティコストの上昇がリスク要因だが、欧州を中心に柔軟な価格戦略をとっていく方針となっている。
- 財務構成は順調に改善が進んでいる。豪州 CUB 事業の買収で有利子負債が大幅に増加し、一時的にネット DER は 1 倍台後半に上昇したが、21/12 期末では 0.73 倍（劣後債の資本性考慮）と、ほぼ買収前の水準（19/12 期末 0.72 倍）に低下した。また、親会社の所有者に帰属する持分は 1.7 兆円台（劣後債の資本性を考慮しない水準）となっており、相応のリスク耐久力が確保されている。当社では当面、フリー・キャッシュ・フローは債務削減に優先的に充当していく方針。財務規律遵守について、従来からの姿勢に変化はない。

（担当）窪田 幹也・藤田 剛志

■格付対象

発行体：アサヒグループホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 8 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 5 月 28 日	2022 年 5 月 27 日	0.348%	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第10回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	1,300億円	2017年6月13日	2022年6月13日	0.170%	AA-
第11回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200億円	2017年6月13日	2024年6月13日	0.230%	AA-
第12回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	300億円	2017年6月13日	2027年6月11日	0.330%	AA-
第13回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	1,000億円	2020年10月15日	2023年10月13日	0.001%	AA-
第14回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	100億円	2020年10月15日	2025年10月15日	0.120%	AA-
第15回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	500億円	2021年3月15日	2024年3月15日	0.001%	AA-
第16回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	500億円	2021年3月15日	2026年3月13日	0.080%	AA-
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	3,000億円	2020年10月15日	2080年10月15日	(注)	A

(注) 2025年10月15日まで年0.97%の固定金利。その翌日から2030年10月15日までは6ヵ月ユーロ円ライボーに1.00%を加算した変動金利。その翌日から2045年10月15日までは6ヵ月ユーロ円ライボーに1.30%を加算した変動金利。その翌日以降は6ヵ月ユーロ円ライボーに2.00%を加算した変動金利。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	7,000億円	2020年6月9日から2年間	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	5,000億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年4月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「食品」（2021年6月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）、「ハイブリッド証券の格付について」（2012年9月10日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) アサヒグループホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件劣後債につき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル